

彩の国さいたま芸術劇場・埼玉会館 2022年度ラインナップ

会場表記のない公演はすべて彩の国さいたま芸術劇場

4月—6月

4月29日(金・祝)～5月1日(日)
ジャンル・クロスI
近藤良平 with 長塚圭史『新世界』

5月12日(木)・13日(金)
【共催】加藤訓子「META-XENAKIS
～クセナキス生誕100年を祝う」

5月18日(水)
イレブン・クラシックスVol.5
大萩康司(ギター) & 江戸聖一郎(フルート)

6月4日(土)・5日(日)
コンドルズ埼玉公演2022新作
『Starting Over』

6月30日(木)～7月3日(日)
ディミトリス・パパイオアナヌー
『TRANSVERSE ORIENTATION』

7月—9月

7月3日(日)
大塚直哉レクチャー・コンサート
バッハ“平均律”前夜
～月明かりのもと書き写した楽譜たち～

7月8日(金)～10日(日)
【共催】Noism × 鼓童『鬼』

7月8日(金)～18日(月・祝)
ジャンル・クロスII
近藤良平 × 松井周
『導かれるように間違う』

7月18日(月・祝)
ピアノ・エトワール・シリーズVol.44
三浦謙司ピアノ・リサイタル

7月26日(火)～8月7日(日)
さいたまダンス・ラボラトリ企画Vol.6
※ワークショップ・公開リハーサルあり

7月30日(土)
ユナイテッド・ユーロ
プラス・クインテット

8月3日(水)～6日(土)
【共催】ピアノデュオ ドゥオール
デュオ・セミナー

8月20日(土)・21日(日)
オープンシアター
「ダンスのある星に生まれて2022」

9月
さいたまダンス・ラボラトリ企画
岡田利規 × 湯浅永麻
『わたしは幾つものナラティヴのバトルフィールド』

9月
【共催】マームとジプシー『cocoon』

9月16日(金)～25日(日)
彩の国シェイクスピア・シリーズ
『ヘンリー八世』

9月17日(土)
ピアノ・エトワール・シリーズVol.45
松田華音ピアノ・リサイタル

9月30日(金)
クロノス・クアルテット
『ブラック・エンジェルズ』

10月—12月

10月2日(日) **埼玉会館**
NHK交響楽団

11月19日(土)・20日(日) **埼玉会館**
マギー・マラン『MayB』

12月3日(土) **埼玉会館**
バッハ・コレギウム・ジャパン
ベートーヴェン「第九」

彩の国さいたま寄席 四季彩亭

4月16日(土) / 8月6日(土)
12月4日(日) **埼玉会館**
2023年2月4日(土) **埼玉会館**

光の庭プロムナード・コンサート

4月23日(土) 第130回
5月21日(土) 第131回「ばらまつりスペシャル」
6月25日(土) 第132回
ほか、夏休みスペシャルを予定

埼玉会館ランチタイム・コンサート **埼玉会館**

6月24日(金) 第53回 NHK交響楽団メンバーによるヴィオラ十重奏
10月26日(水) 第54回 佐藤采香(ユーフォニアム)
2023年2月3日(金) 第55回 坂本 彩&坂本リサ(ピアノデュオ)
2023年3月30日(木) 第56回 春休みスペシャル 東京交響楽団メンバーによるアンサンブル

2023年3月

2023年3月25日(土)・26日(日) **埼玉会館**
日本昔ばなしのダンス

彩の国さいたま芸術劇場大規模改修工事に伴う休館 10月3日(月)～2024年2月29日(木)

2022.2.1現在。やむを得ぬ事情により、公演開催日、出演者等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。



公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
〒338-8506埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
電話:0570-064-939
(10:00-19:00 / 彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)
※一部IP電話からは受付できません。
<https://www.saf.or.jp/>



劇場(総合) @Theater_SAF
劇場(演劇) @Play_SAF
劇場(舞踊) @Dance_SAF
劇場(音楽) @Music_SAF
埼玉会館 @saitamakaikan



彩の国さいたま芸術劇場 @saitamaartstheater
埼玉会館 @saitamakaikan

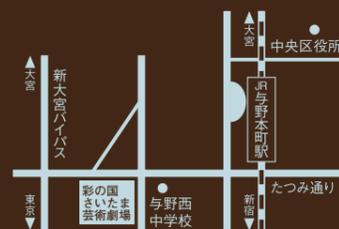


彩の国さいたま芸術劇場 @saitamaartstheater
埼玉会館 @saitamakaikan



公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 公式チャンネル
<https://www.youtube.com/SAFtheaterchannel>

【彩の国さいたま芸術劇場】



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1
電話:048-858-5500(代)

- 電車でのアクセス
JR埼京線と野本町駅(西口)下車 徒歩7分
- バスでのアクセス
JR京浜東北線北浦和駅から西武バス大久保行き「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

【埼玉会館】



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4
電話:048-829-2471(代)

- 電車でのアクセス
JR宇都宮線・高崎線・京浜東北線・湘南新宿ライン浦和駅(西口)下車 徒歩6分

※駐車場(有料)は台数に限りがございますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。



始動。
SAITAMA ARTS THEATER



2022年4月 近藤良平 彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督就任!

Photo © 佐藤良

2022年4月、 近藤良平芸術監督による 彩の国さいたま芸術劇場の 新体制がスタート！



Photo◎宮川舞子

RYOHEI KONDO

1968年、東京都出身、ペルー・チリ・アルゼンチン育ち。振付家・ダンサー／コンドルズ主宰。1996年に自身のダンスカンパニー「コンドルズ」を旗揚げし、全作品の構成・映像・振付を手がける。世界約30ヶ国で公演を開催。NHK総合「サラリーマンNEO」振演出演、NHK連続テレビ小説「てっぺん」、NHK大河ドラマ「いだてん」振付。0歳児からの子ども向け観客参加型公演「コンドルズの遊育計画」や埼玉県との共働による障害者によるダンスチーム「ハンドルズ」公演(2009年～)など、多様なアプローチでダンスを通じた社会貢献にも取り組んでいる。当劇場では、2006年からコンドルズ埼玉新作公演を行う。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞、第67回芸術選奨文部科学大臣賞受賞、第67回横浜文化賞受賞。2022年4月1日、彩の国さいたま芸術劇場芸術監督に就任。



Photo◎佐藤真

始動。

SAITAMA ARTS THEATER

劇場が積み上げた経験を 引き継ぎ拡張する

蜷川幸雄前芸術監督のつくりあげたレガシー、彩の国シェイクスピア・シリーズに関しては、37作品完結後も、シリーズの芸術監督である吉田鋼太郎さんと新しい展開を相談しています。挑戦的な試みができる劇作家や演出家とも、仕事をしていきたいと考えています。

また新たに、「さいたまゴールド・シアター」、「さいたまネクスト・シアター」のような高齢者や若者に限らず、あらゆる世代、有名無名にこだわらない表現者を集めたゆるやかなグループの活動を構想中です。皆で未だ見ぬ表現を探していきたいんです。さまざまな人が「クロッシング」することによって、小さな共同体のような活動ができればと考えています。

今後のダンスに関しては、「ダンスのさいたま」をつくってきた理由の一つである海外のアーティストやカンパニーの紹介はもちろん続けていくべきだと思っています。また、これまでも若手ダンサーを対象にした育成ワーク

ショップや中堅アーティストのクリエイション、ダンスの枠を超えた実験的な創作プログラムも展開していますが、私自身も「ジャンル・クロス」の視点を取り入れたクリエイター育成に挑戦していきたいです。

そしてこの劇場は音楽ホールも素晴らしいんです。アコースティックな音響や温かみのある空間を生かしたバッハ・コレギウム・ジャパンや若い気鋭アーティストを起用したピアノ・エトワール・シリーズなどのラインナップを今後も続けていくとともに、他ジャンルとのクロス企画も工夫していきたいと思っています。

劇場は、アーティストであれ、地域の人々であれ、芸術的な探求をしたい人たちのサンクチュアリ(保護区)のはずなんです。一步劇場に足を踏み入れれば「作っていいんだ、表現していいんだ」と思える……そんな場になればうれしいですね。散歩のついででもいいから、誰もがふらりと立ち寄れる劇場にしたいんですよ。そのためには舞台だけではなく、劇場自体がワクワクするような仕掛けを工夫しないといけないと思っています。

取材・文◎川添史子

新体制のテーマは「クロッシング」

「クロッシング」という言葉には、〈多彩なアーティストがクロス〉、〈多様な人々がクロス〉、〈地域あるいは地域間でクロス〉という、3つの「クロス」の意味が込められています。さまざまなジャンルのアーティストが刺激を与えあい、交わり合うことで新しい表現を生み出したと考えています。そうすれば、お客様も関心のあるジャンル以外にもいろいろな表現に触れ、楽しみが広がることになるでしょう。そして地元であるさいたま市、県内各地の自治体や公共ホール、学校、文化団体、全国の公共劇場やホールとも繋がって、刺激的な創造の交換ができればと考えています。

ジャンル・クロスが舞台芸術を強く、面白くする

就任後1本目の作品は、長塚圭史さんとのコラボレーションとなる『新世界』です。長塚さんと組むこと自体が「クロッシング」で、ダンス・演劇・音楽、さまざまな「声」が聞こえてくる舞台になりそうです。就任後初の作品ですから、「エンジンかけてやっていこう」という決意表明のような公演になればと考えています。

そして7月の作品は松井周さんが脚本を書

き下ろし、私が演出します。不条理劇テイストのお芝居を考えていて。意外に思われるかもしれませんが、僕の中では不条理劇は親近感を覚える世界観なんです。出演者も少なく、ミニマムな空間で、五感で感じさせるような実験的な作品を構想しています。

6月は毎年恒例のコンドルズ新作です。コンドルズ自体がジャンル・クロスそのもの。これだけバリエーションの豊かな人間が揃っていますから、観客にとって自分を重ねる人間が必ず一人はいるはず。「世の中にはい

ろんな人がいるんだな」と感じながら、共感していただければと思います。

埼玉に根をはり、 日本全国へもつながる

埼玉から全国への発信は今後も継続したいと思っています。これまでもシェイクスピアや藤田貴大さん(マームとジプシー)の作品を全国の公共劇場で巡回してきました。埼玉で生まれた舞台を全国に持っていき、さらには新しい公共劇場間連携のあり方を探りたいですね。

《地域とつながる》という意味では、8月、昨年に引き続きオープンシアター企画「ダンスのある星に生まれて2022」を開催します。このオープンシアターのコンセプトは「子ども目



4月

長塚圭史 & 近藤良平 Photo◎宮川舞子



9月

彩の国シェイクスピア・シリーズ「ヘンリー八世」
Photo◎渡部孝弘



9月

岡田利規 × 湯浅永麻
「わたしは幾つものナラティヴのバトルフィールド」
Photo◎大河博靖



9月

クロノス・クアルテット Photo◎Jay Blacksborg



8月

オープンシアター「ダンスのある星に生まれて2021」より Photo◎宮川舞子



6月

コンドルズ埼玉公演2021新作「Free as a Bird」より Photo◎HARU



6月

ディミトリス・パバイオアヌー「TRANSVERSE ORIENTATION」
Photo◎Julian Mommert



12月

バッハ・コレギウム・ジャパン Photo◎横田敦史



Photo◎佐藤真